77

株式会社 パワフルケア

3つの視点（気付き、感動、チャレンジ）で保育士が成長

保育士が「Do RIC」を入力している様子

アプリ「Do RIC」の画面

「Do RIC」を導入した保育園の様子

事業内容 保育園運営や保育士派遣など保育をトータルで提供

病院内保育の運営受託や、保育士派遣サービス、ベビーシッターサービスなど、保育に関する事業を幅広く行っている。直営する保育園は2件、受託・派遣先は約30件にのぼる。

独自の個別保育サービス「RIC」は、保育士が、子どもを見て気付き（Realize）、感動（Impression）、チャレンジ（Challenge）を発見して、紙に書き出したものを親と共有する仕組みだ。親が子どもの成長を見守ることや成長の後押しすることが狙い。「保育の質で勝負している。子どもの成長の瞬間を保護者に伝えることで、普段は忙しくて子どもの世話があまりできない保護者を、RICを通じて元気づけられたら」と黒田命人（みこと）社長は狙いを話した。

近年、保育園は保育士の確保に重点を置いており、保育の質は保育士個人の力量によるものが大きい。保育の質を上げるには、保育士の質の向上が不可欠だと考えた同社は、RICを親との情報共有ツールとしてだけではなく、保育士の育成ツールとしても活用することを決意した。

補助事業 アプリで保育士の成長を支援

「保育の質で勝負する」同社は、保育士が子どもを見て新たな気付き、感動、挑戦を繰り返し発見するRICを行うことで、保育士の能力が向上することに気付いた。RIC発見記録を継続することで「保育士としての資質が向上しているか」の学術的な検証を同志社大学心理学部内山研究室に委託。その結果、RICには保育士の意識向上と自己成長につながる効果があることが分かった。保護者との情報共有ツールだったRICを使って、保育士を育成するソフト「Do RIC」を開発した。

アプリに事前に登録した園児それぞれの項目に、保育士が発見したRICポイントを入力する。それを保育の専門家であるRICアドバイザーが評価。例えば「今月の評価は前月に比べ、園児についての採点が良いですね」というように、前月と比較して進歩具合を評価する。指導方法は、アプリを通したものや直接に出向いての指導などさまざま。「これまで保育士はRICポイントを紙に手書きしていた。アプリで手軽に入力できるので、保育士の負担軽減にもなる」と黒田社長は説明する。

具体的成果 「Do RIC」で高品質な保育を提供

「1人の保育士をいろんな角度から見て成長度を測る」と黒田社長は話す。状況記述力、状況洞察力、心的状況の推測力、課題発見力、目標設定力、将来想像力の6つに分別した能力が現段階での保育士としてのレベルを数値化した。保育士は自分にどの能力が不足しているのかを知ることができるので課題克服をイメージしやすいという。また過去の評価数値も振り返ることができるので、自分の成長度を実感できる。ほかにも、「Do RIC」を使用することで、保育士が目標意識を持って仕事に取り組むようになることから、保育の品質向上のほかにも保育園の活性化にもつながるという。また、同システムは、保育士の育成だけではなく、従来通り保護者との情報共有としての役割も果たす。

このように、同システムを導入した保育園は「高品質な保育を提供する園」として、入園希望者や保育士の勤務希望者の増加が見込めるという。

今後の戦略 保育園を選ぶ新たな基準へ

保育士が「Do RIC」を実施すると「保育士としての資質」が向上することが実証された。RIC発見記録を継続することで課題解決につながり、自己成長につながるという一定の効果を確認。今後も引き続き、RIC効果に対する検証を継続するという。

一方で、保育士の成長度を数値化するのはRICアドバイザーだ。アドバイザーの個人による評価判断になるため、アドバイザーにより判断基準が若干変わってしまうことも考えられる。そのため、今後は保育士の成長度の数値化をソフトウエアで自動的に行い、標準化することが目標だという。「将来は、保育所を選ぶ基準として、偏差値のように保育園を数値化したい」と黒田社長は意欲を示す。学力を測る偏差値や、資格試験などによる等級で個人の能力は数値化できるものもあるが、保育に関しては能力の指標がわかりづらかった。「Do RIC」が世の中に広まり、各保育所が導入することで、保護者が保育士を選ぶ新たな基準ができることや、保育士自身も自身の能力が数値化されることで成長意欲がわくことが考えられるという。平成29年度には高槻、茨木、吹田、摂津市の大阪府の北摂エリアの保育園5件への販売が目標だ。さらに、平成31年には、RIC関連サービスで3，096万円の売り上げを目指す。

株式会社 パワフルケア

代表取締役社長　黒田 命人(みこと)

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町5-23 ファイブビル5F

TEL. 072-681-7465

FAX. 072-681-2443

資本金／10，000千円

従業員／35名

オンリーワン技術　連携力

保育者の意識とモチベーションを向上させる新しい学習ツール　それがRICです

代表取締役社長 黒田 命人（みこと）

保育を通じて、子どものみならず保護者も元気になってほしい。当社が創業以来変わらず持ち続けているミッションを達成する為の革新的サービス、それがRICです。いずれ全国の保育者が「RICやってる?」と言い合える、保育業界で定番のeラーニングとなることを願っています。

http://www.pcare.jp/

取材を終えて

母と子の成長ツールにも

「“Do RIC”で保育士・母親・子どもが成長してくれたら」と黒田眞理子取締役会長は話す。母親は保育士と、子どもの成長を共有することで、子どもと接する際の新しいヒントを得る。また子どもは、自身の成長を見守ってくれる存在がいることで自ら成長意欲がわくことが考えられる。「Do RIC」は保育士だけでなく、母と子の育成ツールだといえる。